

# KPIと中期経営計画から考える『ROE』向上に向けた実践的方策

セッション1：ROEの理解と向上を支えるKPIマネジメント

セッション2：中期経営計画にROEとその達成のストーリーを組み込む方法

※セッション毎のご参加が可能です。

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ セッション1：2016年 2月 9日(火) 13:00~17:00

セッション2：2016年 2月10日(水) 13:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京：麹町)

《ご参加頂きたい方》

- ・ROEの向上やKPIマネジメントに関心を持つ経営管理者、経営企画、経理、IR、CSR、環境経営、新規事業開発担当 ほか
- ・中期経営計画に資本効率を意識したROEなどを組み込むことに関心を持つ経営管理者、経営企画、経理、新規事業開発担当 ほか

講師 キュー・エム・コンサルティング取締役社長 松原恭司郎氏(公認会計士)

国際会計事務所系コンサルティング会社などを経て1992年に独立。バランス・スコアカード、ビジネスモデル、ERP関連のコンサルティング業務に従事。情報処理システム監査技術者。東北福祉大学兼任講師、元中央大学大学院特任教授。主な著書に『ビジネスモデル・マッピング教本』(2013)、『松原流：戦略マップ/BSC実践教本』(2010)日刊工業新聞社、『図解「統合報告」の読み方・作り方』(2014)中央経済社などがある。

《申込書送付先》 FAX▶03-5215-0951 ※当会HPからもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料：1名(税込・書籍代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

両日参加 正会員 45,360円(本体価格42,000円) 一般 48,600円(本体価格45,000円)

1日のみ参加 正会員 35,640円(本体価格33,000円) 一般 38,880円(本体価格36,000円)

|                  |     |   |     |  |   |
|------------------|-----|---|-----|--|---|
| 受講希望に「✓」をご記入下さい。 |     | <input type="checkbox"/> 2月9日参加 (151574-1010) |     | <input type="checkbox"/> 2月10日参加 (151574-1010) |   |
| ふりがな             | 会社名 |   |     |  |   |
| 住所               | 〒   |   |     |  |   |
| TEL              |     |   | FAX |  |   |
| ふりがな             | ご氏名 |   | 所   | 属  | 職 |
| E-mail           |     |   |     |  |   |

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

- 参加要領：申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間前~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- ※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])
- ※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
- お申込・お問合わせ先：企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp  
TEL:03-5215-3514 FAX:03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

## ・プログラム・

セッション1：2月9日(火) 13時~17時  
「ROEの理解と向上を支えるKPIマネジメント」

■開催にあたって  
KPI(重要業績評価指標)が目目される中で、アベノミクスの成長戦略による一連の施策を受けて、ROE(自己資本利益率)に投資家と経営者の双方の関心が高まっています。  
<セッション1>では、①ROE向上が求められる背景を確認し、②ROE向上の三つの要素(利益率×回転率×レバレッジ)と、その向上策を検討し、③財務と非財務のKPIのタイプやサンプルを例示すると共に、④KPIの設定・評価・改善というKPIマネジメントの全体像について『ROE重視のKPIマネジメント教本』(2016年1月出版予定)の著者が分かり易く解説します。

### ■プログラム

【Why】

1. ROEとKPIが目目される背景
  - (1)ROE向上要求の包囲網(アベノミクスの成長戦略)
  - (2)経営戦略、ビジネスモデルの見える化
  - (3)投資家との対話の充実~「統合報告」

【What】

2. KPIの基本
  - (1)KPIの定義
  - (2)KPIのタイプ
3. ROE他の総合経営指標
  - (1)財務諸表の構造の確認
  - (2)ROE他の総合経営指標

【How】

4. KPIマネジメントに役立つ思考法とフレームワーク
  - (1)KPIマネジメントに役立つ思考法
  - (2)KPIマネジメントに役立つフレームワーク
5. ROE向上のレシピ
  - (1)KPIマネジメントの成熟度診断
  - (2)三つの戦略タイプ
  - (3)ビジネスモデル・パターン
6. 適切なKPIの選定法

【What】

7. KPIのショーケース
  - (1)財務の視点のKPI
  - (2)顧客の視点のKPI
  - (3)バリューチェーンの視点のKPI
  - (4)経営資源の視点のKPI
  - (5)ESG(環境・社会・ガバナンス)のテーマのKPI

セッション2：2月10日(水) 13時~17時  
「中期経営計画にROEとその達成のストーリーを組み込む方法」

■開催にあたって  
アベノミクスの第三の矢・成長戦略の後押し等もあり、資本効率を重視したKPIであるROE(自己資本利益率)を中期経営計画の経営目標に掲げる企業が増加しています。本セミナーでは、『松原流：戦略マップ/BSC実践教本』の著者が、ROEなどの財務KPIと、その向上のストーリーを明確にする戦略マップ/BSC(バランス・スコアカード)の基本と中期経営計画への適用法について分かり易く解説します。

### ■プログラム

1. 事業戦略と中期経営計画の策定
  - (1)戦略論と中期経営計画
  - (2)中期経営計画に関する課題と対応策
2. 戦略マップ/BSCを中期経営計画の策定と運用に活用する
  - (1)戦略マップ/BSCの基本
  - (2)ROE等の総合経営指標と戦略マップ/BSC
  - (3)中期経営計画の策定と運用に戦略マップ/BSCを採用するメリット
3. ビジネスモデルと中期経営計画
  - (1)ビジネスモデルの基本
  - (2)ビジネスモデルの見える化のフレームワーク
  - (3)ビジネスモデルを意識した中期経営計画の策定
4. 戦略マップを使ったROE向上のストーリーの描き方(戦略タイプ別テンプレート)
5. 戦略マップを使ったROE向上のストーリー展開のケース・スタディー

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

講師の最新図書『ROE重視のKPIマネジメント教本』日刊工業新聞社(2016年1月下旬出版予定)を受講者に謹呈します。  
※両セッション参加、セッション1のみ参加、セッション2のみ参加、いずれの参加パターンでも1冊となります。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。